これからの時代は
電気を売るより
自分で使うとお得！

停電がなくなり、お得に暮らせる蓄電池がオススメ！

月々6千円で始めて
毎月の光熱費がほぼ0円に！

※PLAN２を試算した場合の内容です。この数値は電気料金を保証するものではありません。発電量や電気料金は時期や使い方によって変動します。

デザインハウスの商品にプラスワンで選ぶだけ！

梅 蓄電容量 5.5kw （1～2人家族向け）

毎月 **5,300円**
（本体価格 180万円）

竹 蓄電容量 10.24kw （3～4人家族向け）

毎月 **6,200円**
（本体価格 211 万円）

松 蓄電容量 16.4 kw （5人以上の家族向け）

毎月 **7,500円**
（本体価格 253 万円）

裏面で詳しくご紹介します！

とりあえずつけておけば間違いなし！お得な太陽光・蓄電池セットはイチオシです！

蓄電池セットをつけると・・・

停電がなくなる

電気代ほぼ０円

結果的にお得

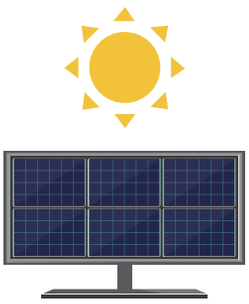
停電もなくなって家計もお得になるので蓄電池は今一番付けておきたい設備です！

導入費用＜電気代

太陽光発電システムと蓄電池を導入すると、住宅ローンの毎月の支払いは毎月６千円の支払い増となります。ですが毎月の電気代は 4 人世帯なら平均１万２千円。電気代として払うはずだった、この１万２千円分がお得になるので「とりあえず導入」しておくのがオススメです！更に災害時にも停電の影響を受けにくいので、借り入れ額に余裕があるなら迷わず導入をおすすめしています。

蓄電池の電気の使い方

太陽がある時

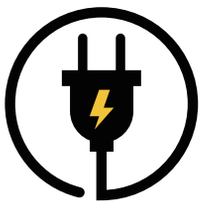


日中は太陽光から蓄電
余った電力は売電を行う

蓄電

日中は太陽光の電力を、
夜間は蓄電池の電力を使う

太陽がない時



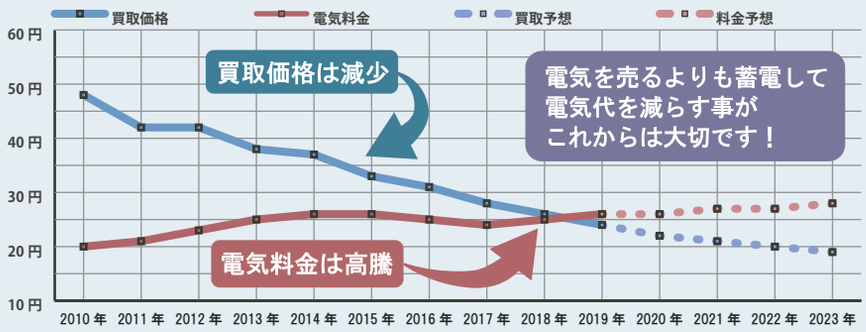
夜間電力

夜～朝は電池が減ったら
家庭の電気を使い充電。

※設置するメーカーや機種によりコントロールや設定方法が変わります。詳細は各商品のカタログをご確認ください。

これからは電気代が上がることが予想されています。

太陽光発電などから売電した時の「買取価格」と、「電気料金」の比較



売電価格が下がり、電気料金は上がる中、注目される「蓄電池」。

売電価格が下がり、電気料金が上がることで電気に対する考え方は大きく変わってきています。特に電気代は再生可能エネルギー促進の為の「再エネ賦課金」によって値上がりすることが予想されています。太陽光発電で生まれた電気を売る事で収益を得られたこれまでとは違い、これからは高い電気代をいかに少なく抑えて生活できるかがポイントになります。太陽光発電システムとともに蓄電池を設置する事で、昼も夜も電池のエネルギーを利用して、お得で快適な生活ができるようになりました。

世帯人数ごとの一般的な電気量と料金の目安

	１人世帯	２人世帯	３人世帯	４人世帯	５人世帯	６人世帯
毎月の電気代平均	5,964 円	9,152 円	10,797円	11,106円	13,162 円	15,983 円
アンペア数	30A	30A	40A	50A	60A	60A
電気使用量 (1日)	7.99 kWh	12.24 kWh	14.39kWh	14.81 kWh	17.51 kWh	21.24 kWh
電気使用量 (月平均)	239.7kWh	367.3 kWh	431.8kWh	444.3 kWh	525.3 kWh	637.2 kWh

※2017年の総務省の家計調査データを元に平均値を算出しています。電気料金を保証するものではありません。一日換算では一ヶ月を 30 日と仮定して計算しています。

今後の電気代の高騰に備えて、今のうちに蓄電池をつけてお得で快適な生活を手に入れましょう！